

郷土かみのかわの歴史・文化財

町指定文化財 坂上古墳群

古墳時代中期以降になると、一定の場所に集中して古墳を作る群集墳が見られるようになります。古墳時代の終末まで作られます。大部分は直径が10m～20mの小型の円墳になりますが、中には方墳や前方後円墳が作られることもあります。二百数十基の横穴墓からなる埼玉県の吉見百穴や、宇都宮市長岡百穴などの横穴墓も、群集墳の仲間になります。全国は10万基とも15万基ともいわれる古墳のうちの90%は群集墳に伴つて作られたものです。

群集墳が出現した歴史的な背景

背景は諸説あります。初めはある程度広い地域のリーダーにのみ作ることができたのに対し、最盛期である6世紀になると、コメ作りも軌道に乗りました。これは鉄製の農具の普及が大きな要因のひとつと

考えられています。また、この時期の人々の住まいにも大きな変化が見られるようになります。それは朝鮮半島から伝わったとされる、カマドの目覚しい普及です。この、カマドの普及からも、食生活がコメを中心へと変化し、人々の生活が豊かになっていたことがわかります。しかし、これが持つものと持たざるものを作り出す原因になりました、やがて貧富の差が広がり、富を蓄積した層から、新たな中小の支配者層を生み出こととなり、彼らは自分たちの墓を作るようになつたわけです。

巡回バス最寄りバス停
本郷線(ピンクのバス)
坂上コミセン下車、徒歩5分
▼問い合わせ先
生涯学習課 生涯学習係
☎ 056 915 9

大きい長塚古墳は全長42m、高さ3.5mに及ぶもので、おそらく、ここを墓域として、古墳の造営を続けた一族の始祖でもあり、中心的な人物が葬られている可能性が考えられます。坂上の地は、奈良時代に河内郡にあつた「酒部郷」があつた場所とも考えられており、ここに葬られている人々は、6世紀にこの地域の開発を指導者として押し進め、やがては奈良時代に続く繁栄の基礎を作った人といえるかもしれません。

時代	西暦	元号	で き ご と
百濟が高句麗の捕虜を献上する。 百濟が高句麗の捕虜を献上する。	550	百済が軍兵の派遣を要請する。 百済が救援を要請し、五経博士の交代と、医・曆博士を派遣する。	百済の聖明王が戦死するという。 百済の聖明王が戦死するという。

※このころ坂上古墳群の築造が開始される。

※このころ榛名山が噴火し、付近の集落が埋没する。



坂上古墳群

古墳時代											
西暦	元号	年	事	西暦	元号	年	事	西暦	元号	年	事
1968	昭和43	603	593	592	591	587	584	579	571	562	560
			蘇我馬子が仏殿を作る。								
			蘇我馬子が物部守屋を滅ぼす。								
			新羅に使者を遣わし、伽耶を滅ぼした理由を問う。								
			新羅が調と仏像を献上する。								
			飛鳥寺の仏殿が建てられる。								
			聖德太子が立太子、摄政となる。								
			官位十二階の制が制定される。								
			坂上古墳群が町指定文化財になる。								